

## 医療費分析結果報告書（概要）

- 平成28年度 -

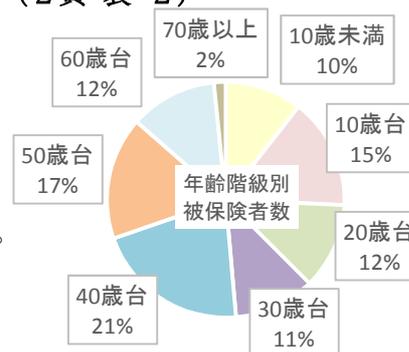
### 【1 被保険者の状況】

○被保険者数（月平均）は 412,316 人であり、前年度に比べて 0.73%減少したが、組合員数は前年度に引き続き増加し、増加率は 1.20%であった。家族数は△2.28%と依然減少が続いている。（1頁 表-1）

組合健保は、前年度から被保険者数が+1.08%、被扶養者数が△1.57%である。

○被保険者の年齢階級別割合では、40歳台が 21.03%と最も高い。（2頁 表-2）

組合健保と比較すると、前年度と同様に 45歳以降はすべての年代で全国土木が高くなっている。



○平均年齢は、36.7歳（組合員 45.7歳、家族 29.4歳）である。（2頁 表-3）

組合健保の平均年齢は 34.8歳であり、全国土木が 1.9歳高い。

○前期高齢者は 24,158人であり、前年度に比べて 8.30%増加し、加入率は 5.86%となっている。（4頁 表-4）

組合健保の加入率は 3.28%であり、全国土木が 2.58ポイント高い。

○扶養率は 1.21人で、前年度に比べて 3.20%減少している。（5頁 表-5、6）

組合健保の扶養率は 0.80人であり、組合健保より扶養率が高くなっている理由は、全国土木は男性組合員の割合が 86.8%と高いことに加え、組合員と同一世帯であれば、収入の多寡にかかわらず家族被保険者となることが主要因と推察される。

### 【2 医療費の状況】

○総医療費は約 719 億円であり、前年度に比べて 0.54%増加している。（6頁 表-7）

○診療区分別の医療費では、医科入院外が最も多く全体の約 4割を占め、組合員・家族別に見ると、家族（53.04%）が組合員（46.96%）より 6.08ポイント高い。（7頁 表-8）

○1人当たり医療費は、組合員、家族ともに増加傾向であり、前年度に比べて 1.29%増加している。（8頁 表-9）

組合健保と比較すると、組合員の差が大きくなっている。

○平成 27 年度の 1人当たり医療費では、組合健保との差が 19,950円（13.11%）あるが、本人割合、男女割合、年齢構成の影響を取り除くと、その差は僅か 689円（0.45%）となる。

（9頁 表-10）※比較対象とする組合健保資料の公表時期の関係から平成 27 年度で比較した。

年齢階級別 1人当たり医療費は、前期高齢者納付金に影響する前期高齢者（65歳以上 74歳以下）の医療費が高くなっている。

1人当たり医療費			本人割合、男女割合、年齢構成を揃えた 1人当たり医療費		
全国土木	組合健保	差	全国土木	組合健保	差
172,075円	152,125円	19,950円	152,814円	152,125円	689円

○診療区分別 1人当たり医療費については、調剤を除いて増加傾向にあり、前年度と比較すると次表のとおりである。

調剤は減少したものの、その他の診療区分に係る 1人当たり医療費が増加しているため平成 28 年度の総医療費を押し上げている。

1人当たり医療費

診療区分	平成 27 年度	平成 28 年度	増減額	増減率	
医科入院	47,336 円	48,711 円	1,375 円	2.91 %	(11 頁 表-11)
医科入院外	69,566 円	70,720 円	1,154 円	1.66 %	〃
歯科	19,170 円	19,529 円	359 円	1.87 %	〃
調剤	35,659 円	34,899 円	△760 円	△2.13 %	〃
(医科入院外+調剤)	105,225 円	105,619 円	394 円	0.37 %	〃
医療費	172,075 円	174,287 円	2,212 円	1.29 %	(8 頁 表-9)

※医療費には訪問看護療養費を含む。

○ジェネリック医薬品の使用割合は、平成 29 年 3 月診療分で 70.1%となっている。(29 頁 図-49)  
 組合健保の 69.8%からは 0.3 ポイント上回っている。平成 28 年度の使用割合が 100%であった場合、約 8.8 億円の組合負担額の削減が見込まれる。

【3 疾病の状況】

○平成 28 年度診療分医療費における疾病分類を金額順（歯科の疾患を除く）にみると、入院では組合員、家族ともに「新生物」が最も多く、入院外では組合員は「循環器系の疾患」、家族は「呼吸器系の疾患」が最も多い。(30 頁 表-28 ～ 34 頁 表-32)

なお、各区分で金額が最も多い年齢階級と疾病分類は次表のとおりである。

区分	入院			入院外		
	年齢階級	疾病分類	金額	年齢階級	疾病分類	金額
組合員	60 歳～64 歳	新生物	5.9 億円	60 歳～64 歳	循環器系の疾患	5.3 億円
家族	0 歳～4 歳	周産期に発生した病態	5.6 億円	0 歳～4 歳	呼吸器系の疾患	8.7 億円

○平成 27 年度の前期高齢者の疾病分類別 1 人当たり医療費は、医科入院では「新生物」（42,531 円）が最も高く、医科入院外では「循環器系の疾患」（36,172 円）が最も高い。(35 頁 表-33)

なお、組合健保と比較し全国土木との差が大きい上位 3 疾患は次表のとおりである。

疾病分類	入院			疾病分類	入院外		
	全国土木	組合健保	差		全国土木	組合健保	差
総数	143,761 円	137,652 円	6,109 円	総数	162,051 円	154,305 円	7,746 円
筋骨格系及び結合組織の疾患	12,556 円	11,136 円	1,420 円	循環器系の疾患	36,172 円	31,493 円	4,679 円
腎尿路生殖器系の疾患	3,198 円	4,463 円	△1,265 円	筋骨格系及び結合組織の疾患	17,307 円	15,314 円	1,993 円
新生物	42,531 円	41,286 円	1,245 円	内分泌、栄養及び代謝疾患	22,741 円	20,857 円	1,884 円

○平成 27 年度の前期高齢者の入院医療費の疾病分類別新三要素分析をみると 100 人当たり新規入院件数は「新生物」（5.07 件）が最も多く、1 入院当たり医療費は「精神及び行動の障害」（2,984 千円）が最も高い。(36 頁 図-56)

なお、各要素において、組合健保と比較し全国土木との差が大きい上位 3 疾患は次表のとおりである。

疾病分類	100 人当たり新規入院件数			疾病分類	平均在院日数		
	全国土木	組合健保	差		全国土木	組合健保	差
新生物	5.07 件	4.07 件	1.00 件	神経系の疾患	23 日	40 日	△17 日
消化器系の疾患	2.30 件	1.99 件	0.31 件	精神及び行動の障害	201 日	185 日	16 日
循環器系の疾患	3.01 件	2.78 件	0.23 件	内分泌、栄養及び代謝疾患	23 日	17 日	6 日
疾病分類	1 日当たり医療費			疾病分類	1 入院当たり医療費		
	全国土木	組合健保	差		全国土木	組合健保	差
神経系の疾患	35,185 円	28,359 円	6,826 円	神経系の疾患	821 千円	1,131 千円	△310 千円
内分泌、栄養及び代謝疾患	29,041 円	35,407 円	△6,366 円	精神及び行動の障害	2,984 千円	2,722 千円	262 千円
筋骨格系及び結合組織の疾患	50,144 円	55,741 円	△5,597 円	損傷、中毒及びその他の外因の影響	850 千円	1,044 千円	△194 千円